

氏名	横溝 彰彦	所属	一般文科	職位	教授
----	-------	----	------	----	----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
		計画	実績	
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	40	1. 前期と後期それぞれに、本科の一般科目4科目と専攻科1科目の授業を行う。 2. 授業で、学生が英語を話す活動を増やす。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	10	1. 校費で異文化コミュニケーション教育に関する研究を進める。 2. 科研費への申請を行う。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	25	1. 寮務主事補として、寮生の生活指導を行う。 2. 卓球部代表顧問として、事務手続きおよび部員の活動指導を行う。 3. 英会話部顧問として、部員の活動指導を行う。
		実績		
校務 / 管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	20	1. 寮務主事補として、寮運営に関わる校務を担う。
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	5	1. 日本コミュニケーション学会副広報局長として、学会ホームページの運営を行う。 2. 例年どおり依頼があれば、英語スピーチコンテストの審査員を務める。□
		実績		

教員業務内容報告書

報告者氏名	横溝 彰彦			所属	文科	職位	教授	報告年度	令和5年度
分野	計画				実績			記載事項例	
	エフォート	内容			エフォート	内容(計画からの変更点)			
教育	40	担当科目 英語1(4単位、1クラス担当) 英語3(4単位、2クラス担当) 応用英語1(2単位、1クラス担当) 応用英語2(2単位、2クラス担当) リベラルアーツ特論1(1単位、1クラス担当) リベラルアーツ特論2(1単位、1クラス担当) 実践英語 I (2単位、1クラス担当) 英語の授業では、語彙力の増強およびICTの活用、多読の導入に力を入れる。			50	単語帳やe-learningを活用して、語彙力増強を行った。上級生の授業では、授業で多読の時間を設定し、平易な英文を読むことへの心理的な障壁を軽減させた。		担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導 学生数 教育方法改善内容	
研究	20	昨年度学会発表を行った異文化コミュニケーション教育に関する研究内容を論文化し、学会誌に投稿する。			10	現在、当該論文を執筆中。		論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金	
学生生活指導	5	英会話部顧問 卓球部顧問			5	卓球部顧問として、大会や練習試合の引率を行った。		クラブ顧問 コンテスト指導	
校務・管理運営	30	担任 英語科主任 厚生補導委員会委員			30	担任として、学生の生活・学習指導を行った。英語科主任として、本校一般教育の英語授業に係る業務を行った。厚生補導委員として、学生の賞罰に係る業務等を行った。		主事 その他の長 学科長 委員長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員	
社会活動	5	所属学会 日本コミュニケーション学会 National Communication Association 全国高専英語教育学会 日本ESD学会 例年どおり依頼があれば、英語スピーチコンテストの審査員を務める。			5	福岡市中学生英語スピーチコンテストで審査員を務めた。		所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動	

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。